

問1 銀行の利益の仕組みを説明した次の文のうち、空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「銀行は、家計などから預かった（ X ）の利率よりも、企業などへの（ Y ）の利率を（ Z ）設定することで、その差額を利益としている。」（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. X：預金 Y：貸し出し Z：高く
2. X：預金 Y：貸し出し Z：低く
3. X：貸し出し Y：預金 Z：高く
4. X：貸し出し Y：預金 Z：低く

問2 日本銀行が買いオペレーションを実施した際、市場における資金の流れや経済への影響として正しいものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。
2. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却することで、市場の通貨を回収し、物価の上昇を抑える。
3. 政府が所得税や消費税を増税することで、市場の通貨量を減らし、景気の過熱を抑制する。
4. 日本銀行が公共料金の価格を直接操作することで、消費者の購買力を高め、デフレを解消する。

問3 日本銀行の役割に関する記述のうち、「銀行の銀行」としての業務に該当するものはどれですか。他の役割である「政府の銀行」や「発券銀行」と混同しないように選びなさい。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 国民から納められた税金を、国の公金として預かったり管理したりする。
2. 日本で唯一、お札（日本銀行券）を発行し、世の中に流通させる。
3. 民間の金融機関の間で発生した資金の貸し借りを、それぞれの預金口座を通じて決済する。
4. 道路や橋を作るための国の予算が、計画通りに支払われるよう手続きを行う。

問4 景気が過熱し、物価の上昇が激しい好況期において、政府が景気安定のために実施する財政政策の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 公共投資を減らし、増税を行うことで社会全体の需要を抑制する
2. 公共投資を増やし、減税を行うことで社会全体の需要を拡大する
3. 日本銀行が国債を買い入れることで、市場の資金量を増やす
4. 日本銀行が国債を売却することで、市場の資金量を減らす

問5 景気が過熱して物価が上がりすぎている局面において、日本銀行が景気を安定させるために行う「公開市場操作」の説明として適切なものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減少させる
2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増加させる
3. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を増加させる
4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減少させる

問6 景気対策として日本銀行が実施する金融政策において、不景気時に行われる「買いオペレーション」の仕組みとその影響を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 鳥取公立入試 類似）

1. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。
2. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、市場にある資金を日本銀行が回収し、物価の急激な上昇を抑制する。
3. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、金利を意図的に上昇させ、過剰な消費や投資を抑え込もうとする。
4. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、銀行の資金を減少させ、円の価値を下げ輸出産業を有利にする。

問7 資金の供給手である家計と、資金の需要手である企業の間で銀行が果たす役割に関連して、銀行が安定的な経営を行うための利率の仕組みについて述べた文として、背景や理由を含めて説明したものを選びなさい。（2023年 岐阜公立入試 類似）

1. 銀行は貸し倒れのリスクを負うため、貸出先から受け取る利率を預金者に支払う利率よりも多く受け取る必要がある。
2. 銀行の収益は株式投資の配当のみで構成されるため、預金利率と貸出利率を同額に設定して家計を支援している。
3. 中央銀行がすべての利率を決定しているため、民間銀行は利率の差額ではなく国からの補助金によって経営されている。
4. 預金者が銀行に資金を預ける際の利率を貸出利率より高くすることで、社会全体の貯蓄額を増やす仕組みがとられている。

問8 銀行の役割を示したモデルにおいて、左側に「預金を行い利率を受け取る家計」、中央に「銀行」、右側に「貸し出しを受け利率を支払う企業」が位置していると想定します。この仕組みにおいて、銀行が安定して利潤を生み出し続けるために必要な条件として、正しいものはどれですか。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。
2. 家計へ支払う預金金利が、企業から受け取る貸し出し金利を上回っていること。
3. 預金金利と貸し出し金利が常に等しく、家計と企業の間で利率の移動がないこと。
4. 銀行が仲介をせず、家計が企業に対して直接資金を貸し付けること。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 X: 預金 Y: 貸し出し Z: 高く	銀行が持続的に運営されるためには、入ってくるお金（貸し出しによる利息収入）が出ていくお金（預金者への利息支払い）を上回る必要があります。したがって、貸し出す際の利子率を、預かる際の利子率よりも「高く」設定することが不可欠です。この関係性を逆に理解してしまうと、銀行が貸し出しを行うほど赤字になってしまうため、経済の仕組みを理解する上で重要なポイントとなります。
問2	答え 1 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。	買いオペレーションによって日本銀行から民間金融機関へ資金が流れると、市場全体に出回る通貨の量が増加します。資金の供給が需要を上回る形になるため、資金を借りる際のコストである金利（利子率）が低下します。これにより、企業が設備投資のための資金を借りやすくなり、景気を上向かせる効果が期待されます。
問3	答え 3 民間の金融機関の間で発生した資金の貸し借りを、それぞれの預金口座を通じて決済する。	「政府の銀行」は国（政府）の資金（税金など）を扱う役割、「発券銀行」は紙幣を発行する役割です。「銀行の銀行」は、民間の銀行が日本銀行に持っている口座を利用して、銀行間の膨大な取引の決済を行う業務などを指します。これにより、私たちの振り込みなどの仕組みが安全に保たれています。
問4	答え 1 公共投資を減らし、増税を行って社会全体の需要を抑制する	景気が過熱しているとき、政府は社会全体の需要を抑える財政政策をとります。具体的には、道路建設などの公共投資を減らすことや、増税によって人々の使えるお金を減らすことで、経済活動を抑制し物価を安定させます。不況時とは逆の対策を行うことで、景気の変動をなだらかにする役割を担っています。
問5	答え 1 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減少させる	景気が過熱しているときは、物価の上昇（インフレーション）を抑える必要があります。日本銀行が保有する国債を一般の銀行に売却すると、その代金として銀行から資金が日本銀行へ回収されます。これにより、市場に出回る通貨の量が減り、消費や投資が抑制されて景気が安定へと向かいます。
問6	答え 1 日本銀行が銀行から国債を買入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。	日本銀行が行う買いオペレーションの主な目的は、市場の通貨量を増やして景気を上向かせることにあります。日本銀行が国債を買入れると、その対価として支払われた現金が民間銀行の資金源となります。銀行の資金に余裕ができると、企業などへの貸出が活発になり、経済活動が活性化します。逆に、国債を売却する売りオペレーションは、景気が過熱している際に通貨量を減らすために行われます。
問7	答え 1 銀行は貸し倒れのリスクを負うため、貸出先から受け取る利子を預金者に支払う利子よりも多く受け取る必要がある。	銀行は預金者に対して預金を払い戻す義務を負う一方で、企業への貸し出しには返済が滞るリスク（貸し倒れリスク）が伴います。そのため、貸出先から受け取る利子を高く設定することで、リスクへの備えや業務運営に必要なコストをまかっています。このように、預金利子と貸出利子の差額を収益の柱とする仕組みによって、銀行の金融仲介機能が維持されています。
問8	答え 1 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。	銀行は「間接金融」の代表的な機関であり、預金者から集めた資金を自らの責任で貸し出します。銀行の経営を成り立たせるためには、貸し出し先から回収する利子の総額が、預金者に払い戻す利子の総額よりも多くなければなりません。したがって、貸し出し金利を預金金利よりも高く設定することが、銀行のビジネスモデルの根幹となります。